

徳島県公共施設等総合管理計画の改訂について

令和3年11月定例会（事前）
総務委員会資料
経営戦略部

1. 公共施設等を取り巻く課題

(1) 施設の老朽化

施設の多くが、高度経済成長期等に整備されており、今後、更に老朽化が進行し、その対策に要する費用の増加が見込まれる。

(2) 人口減少の進行

県有建築物については、今後の人口減少や人口構造の変化に伴い利用需要等の変化が予測される。

(3) 厳しい財政状況

人口減少や少子高齢化等により、税収の減少や社会保障関係経費等の増大などが見込まれる。

これらの課題に対応するため「徳島県公共施設等総合管理計画」（平成27年度～令和6年度）を平成27年3月に策定

2. 基本方針

不断の「公共施設等のあり方の抜本的見直し」を行うとともに、
「戦略的な長寿命化」を図り、公共施設等の最適化を推進

○点検・診断等の実施方針

○統合や廃止の推進方針

○維持管理・修繕・更新等の実施方針

○市町村に対する支援

3. 目標

〈目標1〉長寿命化を「プラス一世代（概ね25年～40年以上に！）」

〈目標2〉既存ストック有効活用件数を「2倍以上に！」

〈目標3〉PFI等新たな行政手法の導入件数を「3倍以上に！」

〈目標4〉長寿命化に伴う行政コストを「2割以上縮減！」

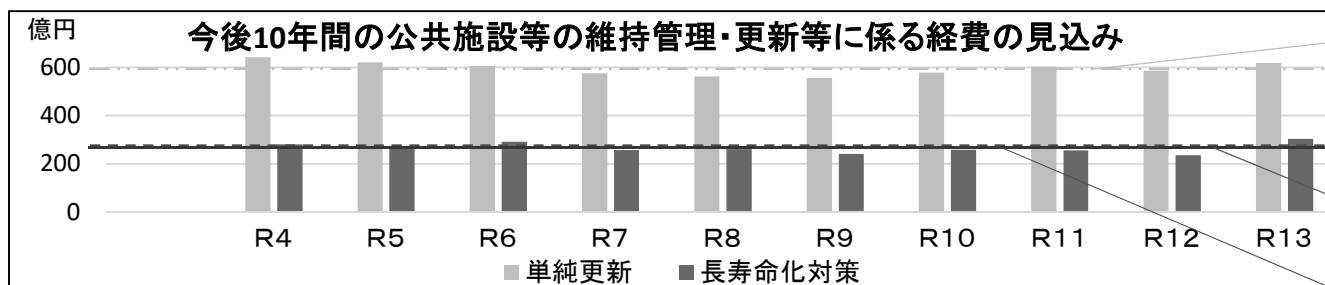
〈目標5〉「長寿命化の推進体制の確立」

国の策定指針が改訂され、記載すべき項目が明示されたことに伴い県計画を見直し

4. 主な改訂内容

今後10年間（R4～R13）の公共施設等の維持管理・更新等の経費見込みを試算

「耐用年数経過時に単純更新した場合」と「予防保全型維持管理により長寿命化対策を行った場合」について試算



①単純更新（約596億円／年）
総額 5,959億円

縮減額 △約330億円／年
総額 △3,300億円

②－①

②長寿命化対策（約266億円／年）
総額 2,659億円

過去5年間（H28～R2）の平均経費
（約275億円／年）

区分	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
単純更新	643.4	622.0	608.0	575.4	562.9	557.6	580.0	602.7	587.4	619.2
長寿命化対策	280.9	274.7	291.1	256.5	261.1	240.3	258.7	255.9	235.4	304.0

（億円）

5. 今後の主な取組内容

(1) 維持管理経費縮減への取組

- ・継続的な既存施設のあり方の抜本的見直しによる長寿命化すべき施設の選択
- ・効率的・効果的な予防保全型維持管理による長寿命化の推進
- ・維持管理の負担を低減する新技術（ICT・省エネ・高耐久等）の導入促進
- ・民間の資金やノウハウの積極的活用（PFI・指定管理）

(2) 財源確保への取組

- ・国庫補助事業や交付税措置のある有利な地方債の活用
- ・県民ニーズに応える施設の機能付加向上による使用料収入の確保
- ・未利用財産の有効活用（貸付）や除却・売却処分